

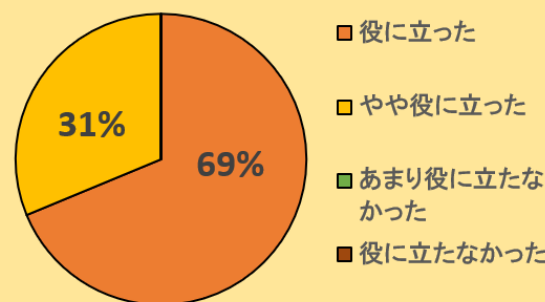
## 5. 地域探究プログラム「オリエンテーション合宿」を振り返って（アンケート）

【参加した生徒から】

問1：あなたは、3学期の「総合的な探究の時間」の授業や「学校生活」において、「地域探究プログラム（オリエンテーション合宿）」で体験したことは役に立ちましたか。

【自由記述】

- 意見を出すための方法やその意見をまとめる方法を知ることができた。それが学校での探究活動の役に立った。
- 物事の考え方が広がった。
- 同じ意見を尊重したり、意見を相手に伝えたりする能力が上達した。
- グループ活動をするときは、お互いの得意なこと、苦手なことを知り、協力し合うことが大切であると気づくことができた。
- 学校でも工夫できるところがあるか考えるようになった。自分の意見をもつという意識をもてた。
- 地域についての理解を深め、考えることはとてもよい経験になった。
- 地域の中での改善点を見つけたり、改善するためにどうしたら良いか考えを共有することで自分たちで考える力をつけるのに役立った。
- この活動を通して、私が知らない職業がたくさんあることを知った。もっとたくさんの職種を知って自分に合うものを見つけたいと思った。
- 進路先を改めて考えるきっかけとなったり、ここをもっとこうすれば良くなるのではないかと無意識のうちに考えていたり大きな変化となった。

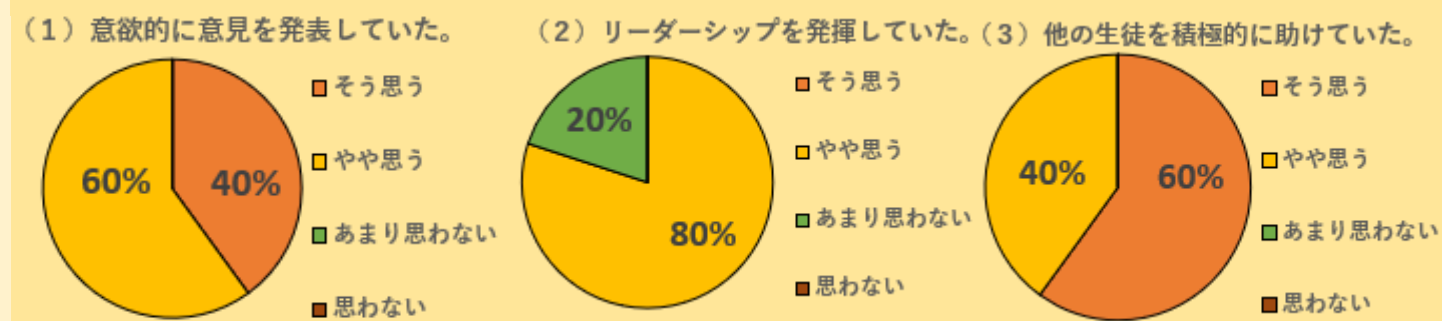


問2：あなたは、「オリエンテーション合宿」の前と後で、自分自身の変化がありましたか。前と後の様子をお書きください。

合宿前	合宿後
①積極的ではなかった。	①前より気配りができるようになり、積極的になった。
②自分の意見を心の中にしまうことが多かった。	②少しだけ自分の意見を出せるようになった。
③意見を持っていても自分からは言わなかった。意見をうまくまとめられなかった。	③前よりは意見を自分から言うようになった。
④周りの意見を聞くだけだった。	④周りの人を観察をよくするようになった。自分から発言を意識してするようになった。
⑤グループ活動で意見を聞くことが多かった。自分の住んでいる地域について全然知らなかった。	⑤グループ活動で、間違いをおそれず発言できるようになった。普段の生活で「なぜ」「どうして」を追求できるようになった。
⑥コミュニケーションをとるのが苦手だった。課題解決能力が低かった。	⑥コミュニケーション能力が上がった。課題解決能力が上がり、様々なことを疑問に思ったり、解決しようと考えられるようになった。
⑦話し合いなどであまり自分の意見が言えなかった。人前での発表が苦手で行動が遅かった。	⑦合宿中に話し合いをたくさんして自分の意見を言ったり人の意見についても聞いたり考えたりしてたくさん発言できるようになった。生活スタイルが整い、テキパキ行動できるようになった。
⑧地域について知らなかった。	⑧地域のサポートをしたいと思うようになった。
⑨地域のことについて興味、関心が全くなかった。	⑨自分の周りの地域のことが気になるようになった。
⑩何か疑問をもっても、そのままにしていた。	⑩疑問をもったらすぐに調べるようになった。
⑪難しい感じがして、あまり「課題」について関わろうとしなかった。	⑪日常の中でも課題を探し、見つけるようになった。

【先生方から】

問1：「地域探究プログラム（オリエンテーション合宿）」に参加した生徒の3学期における「総合的な探究の時間」及び学校生活での様子について聞きます。



問2：先生から見て、参加した生徒が意欲的に意見を述べたり、リーダーシップを発揮したりした場面があれば具体的にお書きください。

- 授業中に意欲的な発言がみられた。
- 校内で行われた講演会で、講師の方に自分から質問をした生徒がおり、意欲的になったと感じた。
- 探究活動のテーマへの取り組みや、その目的、進捗状況の報告、発表の際、とても意欲的、主体的に意見を述べていた。班別行動や探究の際も、周囲の級友によく協力し、発表やまとめの中心になることもあった。

問3：先生から見て、「地域探究プログラムオリエンテーション合宿」の前（2学期）と後（3学期）で学級の雰囲気に変化がありましたか。

合宿前の学級の様子	合宿後の学級の様子
①最低限の交流はしていたが、活発とは言えないような面もあった。	①意見交換の際には積極的に相談できている様子を見る機会が増えた。
②探究活動には、基本的にまじめに取り組んでいたが、少し受け身的な様子が見られた。	②以前よりも積極性や協調性が高まったように思う。良い意味で、自分の意見や考えを発表しやすくなったようにも見えた。
③人前で話することに抵抗がある生徒が多くみられた。	③合宿に参加した生徒の中には人前で話すことが大変苦手な生徒もいたが、合宿でサポートしてもらいながら発表等ができたことで自信がついたものもいた。周囲にも良い影響があった。
④合宿前の学級の様子の記載なし	④「小さな優しさ」が以前よりも多くなった気がする。

■問合せ先： 国立赤城青少年交流の家  
担当：企画指導専門職

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27  
TEL：027-289-7224  
FAX：027-289-7226



HP：<https://akagi.niye.go.jp/>

国立赤城青少年交流の家

検索



令和4年度 全国高校生体験活動顕彰制度



## 「地域探究プログラム オリエンテーション合宿 in 赤城」



～今よりももっと  
自分に自信をもつことができる～

連携校：群馬県立沼田女子高等学校  
日時：令和4年12月26日（月）～27日（火）

「高校生が絵本をつくってみた！」



前橋市立前橋高等学校2年  
大谷さん、齋藤さん、鈴木さん、福田さん、山本さん

地方ステージ in  
国立赤城青少年交流の家  
グループ部門 努力賞受賞